**2024 年 4 月（第 21 版）
*2023 年 10 月（第 20 版）

届出番号：28B1X00012000003

機械器具１　手術台及び治療台

一般医療機器　　汎用電動式手術台　　ＪＭＤＮコード：36867020

特定保守管理医療機器

外科用手術台　ＤＲ－２６００（Ｚ）、（ＺＶ）

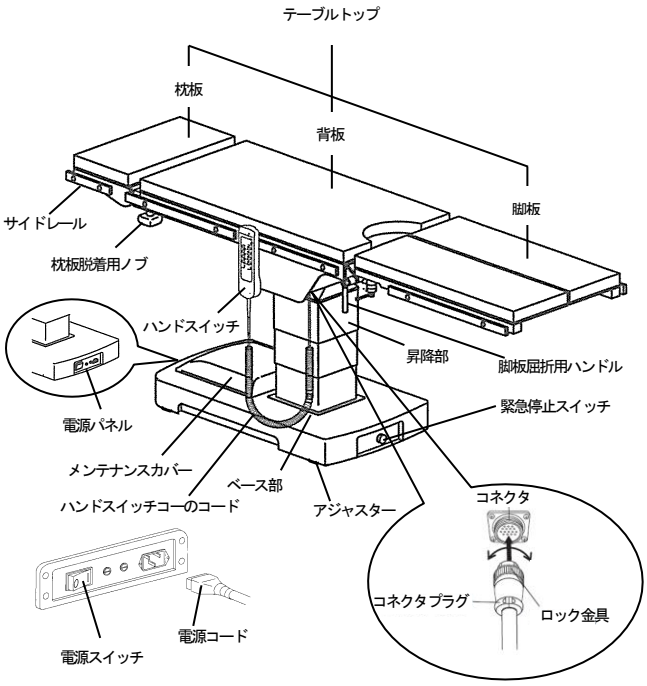
【警告】
機器の動作範囲内に人物及び物、又は手や指が無いか必ず確認すること。［挟み込みによる怪我の防止］

＊【禁忌・禁止】
〈使用方法〉
当社及びタカラベルモント製以外の装置や付属品については、取扱説明書や添付文書等で安全性・有効性を確認できない場合は、本製品に取り付けて使用しないこと。
［安全性が保証できないため］

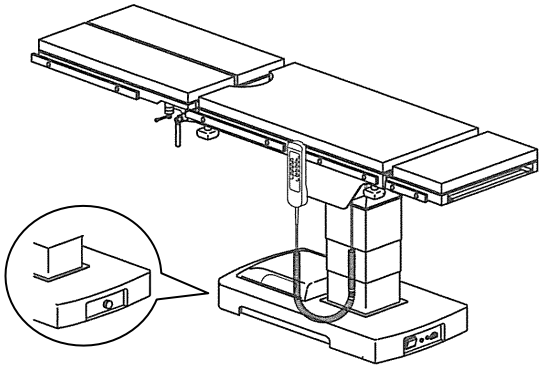
**
＊【形状・構造及び原理等】
１）作動原理
本機は、ハンドスイッチ操作により、油圧機構が働き、本体昇降、本体縦転、本体横転、背板（腰板）屈曲及びアジャスターの各部位を制御範囲内で作動させることができる。
脚板屈曲、開脚及び枕板屈曲に関しては、手動にてハンドル軸やハンドルを解除、固定することで所定の位置に調整することができる。

＊２）外観図

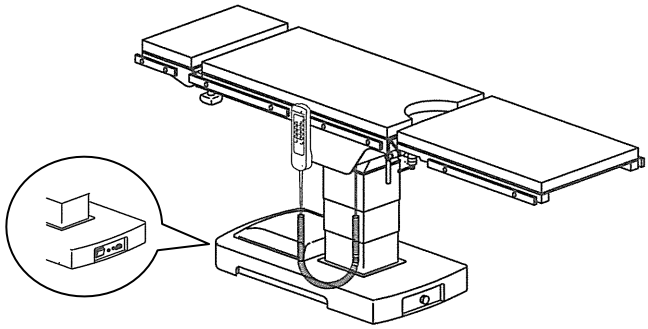
タイプ　Ｚ－Ａ、ＺＶ－Ａ



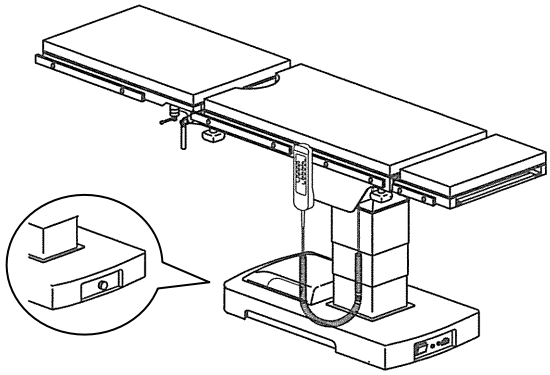
タイプ　Ｚ－Ｂ、ＺＶ－Ｂ



タイプ　Ｚ－ＡＦ、ＺＶ－ＡＦ



タイプ　Ｚ－ＢＦ、ＺＶ－ＢＦ



本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

1A0A7QF0

３）機器の分類
①電撃に対する保護の形式による分類：クラスⅠ機器
②電撃に対する保護の程度による装着部の分類：Ｂ形装着部
（テーブルトップのクッション）

４）電気的定格
①定格電源電圧：AC100V
②電源電圧範囲：定格±10%
③周波数：50／60Hz
④電源入力：5.0A
⑤作動モード：非連続作動　最大３分　Duty Cycle　1：20

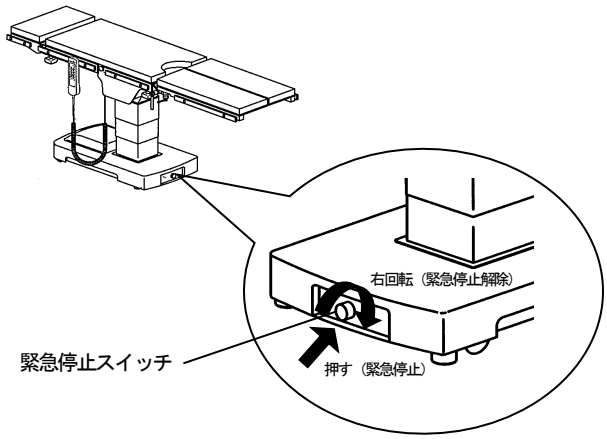
〈動作保証条件〉
下記の条件にて使用すること。（ただし、結露しないこと）
周囲温度 10～40℃　相対湿度 30～75%　気圧 700～1060hPa

【使用目的又は効果】
本機は、一般外科等における手術台として使用する。

＊【使用方法等】
１）取付・設置（組立・据付）
機器の詳細な設置は付属の設置説明書に従うこと。

２）操作方法又は使用方法
機器の詳細な操作方法及び使用方法は付属の取扱説明書を使用前に必ず読むこと。

＊＊緊急停止スイッチの説明



①手術台に異常が発生し、緊急停止する必要がある場合には、緊急停止スイッチを押すことで、本体の電源を切ることが出来ます。

②復帰させる場合は、緊急停止スイッチを右方向に回すことで、回復します。

＊【使用上の注意】
〈重要な基的注意〉
①他の医電気機器（電気メス等）と併用する場合、電磁的影響による不正な動作が発生することがないか使用前に確認すること。
②体重が 135kg 以上の人は乗せないこと。[荷重条件により本体が作動しない場合があります。]
③電源コードやハンドスイッチのコードをベース部に置かないこと。テーブルトップを下降させるときに昇降カバーに挟んでしまい、断線、ショートによる感電や発火の原因になります。[絶縁不良による漏電・火災のおそれがあります。]
④枕板と脚板を差し替えて作動させると、テーブルトップの縦転、横転、の昇降動作がハンドスイッチの絵と逆の動きになります。作動時、患者の状態に加え、テーブルトップの端を目で確認しながら操作してください。[ハンドスイッチの操作が逆になり、施術に支障をきたすおそれがあります。]
⑤操作前に各部ハンドル・ノブは必ず確実に締め付けて、脚板、枕板が確実に取り付いた状態でかつ抜けないことを確認すること。[脱落防止]
⑥ハンドスイッチのコネクタプラグをコネクタに差し込んだ後は、ロック金具を手で回して締め付けること。[ロック金具を締め付けていないとプラグが抜け、誤作動の原因になります。]
⑦脚枠の屈折と開脚のギヤー（ギザギザの山）が正確に噛合っていることを確認すること。[脚板のギヤーが正確に噛合った状態での締め付けがされていないまま、患者を乗せるとギヤーが外れてしまい、脚板が動くおそれがあります。]
⑧枕板を操作するときは、患者の頭の重さを考えて両手で慎重に操作すること。[枕板は、非常に軽く動きますので急激に下側へ折り曲がり思わぬ事故の原因になります。]
⑨枕板のサイドレールには質量 10kg を超える手術台アクサセリー等を取り付けないこと。[重量により、操作者が支えられず急激に下側へ折り曲がり思わぬ事故の原因になります。]
⑩脚板屈折用ハンドルをゆるめる時は、必ず脚板を支えながらゆるめること。[脚板の支えなしでは脚板が急激に折れ曲がり足や手を挟み、けがや破損するおそれがあります。]
⑪以下の操作等を行う際は動作する部位を目視で確認しながら行うこと。[先端が床やベース部に当たり破損するおそれがあります。]
・縦転角度最大までの下降
・背板（腰板）、枕板、脚板を下降させた状態での縦転
・テーブルトップを縦転させた状態での背板（腰板）の下降
・脚板 90°の屈折
・脚板を屈折させた状態での腰板下降
その他、詳細については取扱説明書をご確認ください。
⑫テーブルトップの端に腰掛けたり、過度の荷重をかけたりしないこと。また、枕板および脚板から乗り降りしないこと
[過負荷による故障や破損、転倒の原因になります]
⑬患者の体位を保持する場合は、常に患者の状態を監視すること。
[長時間体位を固定すると患者に障害がおこるおそれがあります。]
⑭お手入れは取扱説明書に従って実施すること。

＊【保管方法及び有効期間等】

〈耐用期間〉
・本機の耐用期間は10年間です。（自己認証（当社データ）による）
※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。
・クッション部品、及びスイッチ類は使用環境によって異なります。

＊【保守・点検に係る事項】
詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ずお読みください。
１）使用者による保守点検事項（日常点検）

頻度	内容
使用前	設置状況の確認
	外観状況の確認
	オイル漏れの確認
	作動状況の確認
	枕板のツメが確実にギヤーに挿入され、状態を確実に保持できること
	作業中に異音、振動、異臭等していないことの確認
	緊急停止スイッチが正常に働くことの確認

＊２）業者による保守点検事項
1年ごとの業者による保守点検を実施するときは、当社または当社の指定する業者、若しくは修理業者などの適切な有資格者に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 タカラメディカル株式会社 TEL：06-6499-3461